



エ ル シ ン LSIN

ニュースレター

No. 8

特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク

— 自然免疫と健康維持 —

LSINは、特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク(Nonprofit Organization Linking Setouchi Innate immune Network)の略であり、平成13年に設立された自然免疫賦活技術研究会を母体として、平成18年3月22日に設立されたNPO法人です。詳しくは <http://www.lsin.org> をご覧ください!!

— 第29回自然免疫賦活技術研究会開催される —



平成21年6月25日(木)、サンメッセ香川(香川県高松市)で第29回自然免疫賦活技術研究会が開催され、計54名(計35機関)が参加しました。今回の研究会では、部会活動の充実を図る一環として、座席を部会ごとにまとめ、部会の結束をより強化するように致しました。さらに、部会報告では、各部会長が議長となり、各部会に所属する機関からそれぞれ活動状況の報告を行い、これまでより更に活発な議論が行われました。



また特別参加として松本安喜氏(東京大学大学院農学生命科学研究科国際動物資源科学研究室)には、「粘膜投与型ワクチン開発とTLRアジュバンド」と題して、お話いただきました。



さらに、最近のトピックスでは、マクロファージネットワークの存在の証明のひとつになると考えられる論文(nature, 458, 1180-1184)が紹介され、自然免疫への注目がより集まっていることが示されました。

本号のニュース

- ・第29回自然免疫賦活技術研究会の開催
- ・品質保証認証マーク作成
- ・安全性・効果実証試験受託フローチャート作成
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介

— 目次 —

- ・第29回自然免疫賦活技術研究会開催される 1
- ・品質保証の認証マークを作成しました 1
- ・安全性・効果実証試験受託フローチャートを作成しました 2
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介
第6回 財団法人四国産業・技術振興センター 3
- ・LSINホームページを更新しました 3
- ・ひげ博士のホットレポートー最新免疫学講座ー 4
- ・LSIN会員募集 4
- ・編集後記 4

品質保証の認証マークを作成しました

LSINでは、小麦発酵抽出物等の機能性糖脂質を配合した製品中の、糖脂質含量を保証する品質保証を実施していますが、この度、品質保証の認証マークを作成しました(右図)。

現行の品質保証においては、製品中に糖脂質がどの程度含まれているかを測定し、その量を保証する「品質保証書」を依頼のあった食品メーカー等に発行していましたが、今後は「品質保証書」と併せて、「認証マーク」を発行することとなります。

なお、この「認証マーク」は希望するメーカーのみに発行する予定ですが、具体的な運用方法については、企業側の要望を

取り入れ検討していきます。詳しい運用方法については決定次第、LSINホームページに掲載します。

品質保証に関する情報は、NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワークホームページ→LSINの活動→品質保証の受託システム(<http://www.lsin.org/katudou/index.htm>)をご覧ください。



安全性・効果実証試験受託 フローチャートを作成しました

LSINでは、活動の一つとして安全性・効果実証試験の受託を行っています。これは健康をサポートする食品や素材の安全性と機能性について、会員企業・団体をはじめそれ以外の企業・団体等から依頼を受け実証試験を行うものです。

実証試験は、LSIN連携医療機関である香川県高松市の財団法人三宅医学研究所附属セントラルパーククリニックと福岡県福岡市の医療法人喜悅会那珂川病院の協力のもと、LSIN臨床部会が主体となり実施しています。

安全性・効果実証試験の対象となる食品や素材は原則として、①動物実験にて安全性試験を行い、データを提供可能なもの、②既に広く使用されている素材であり、経験的に安全性が担保されているもの、③何らかの測定系があるもの、④免疫の活性化、賦活化が期待されるもの、⑤健康の維持、増強効果が期待されるもののいずれかに該当するものです。

上記のいずれかに該当する食品や素材をお持ちの企業・団体等が実証試験をご希望の場合、どのような手続きを

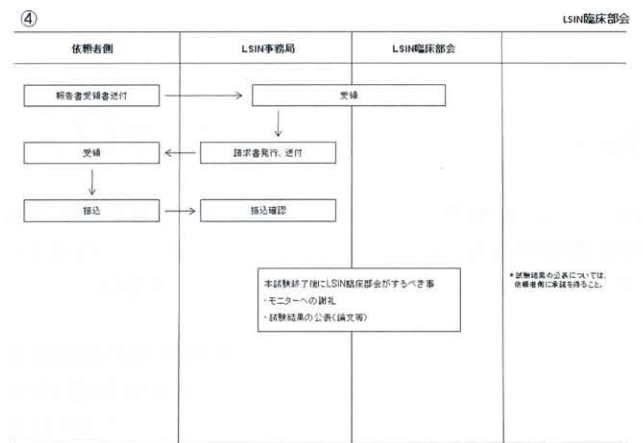
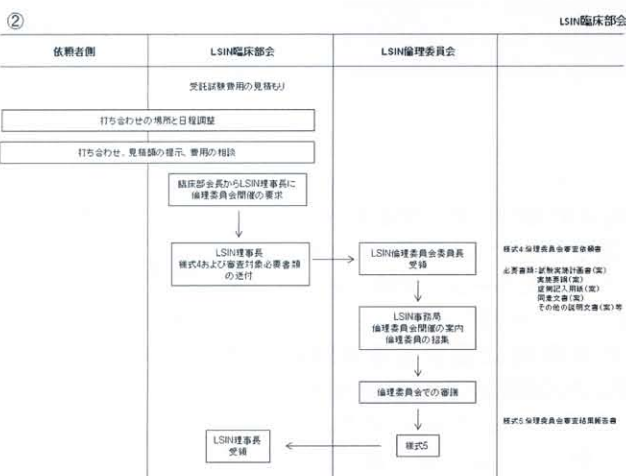
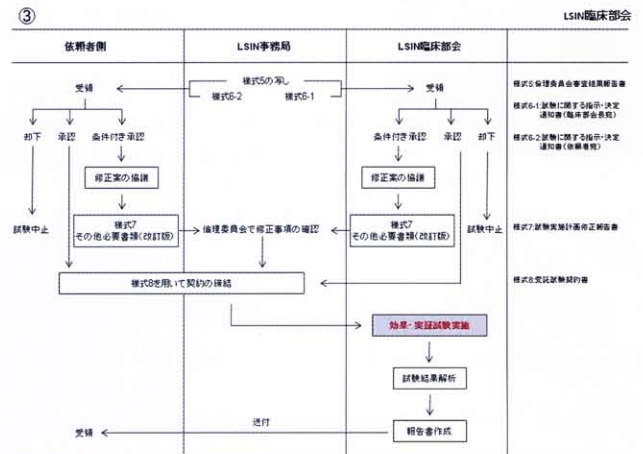
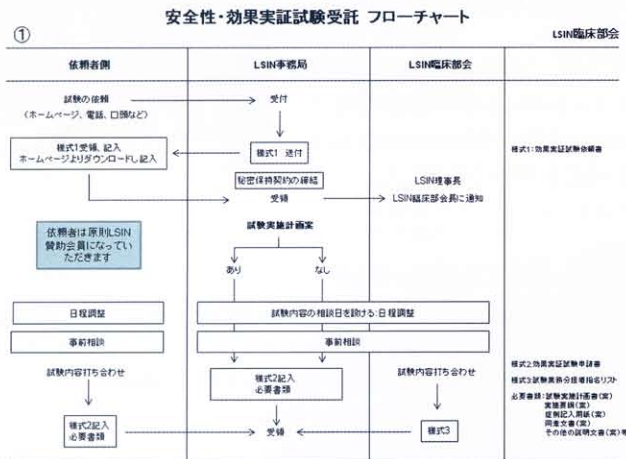
行えばよいかを示すためフローチャートを作成しました。

フローチャートを見ていただければわかりますが、まずLSIN事務局にコンタクトをとることから始まります。効果実証試験の依頼を行った後、LSIN臨床部会と協議を重ねながら試験実施計画案を作成します。この作業と平行して試験費用についても協議を行います。

試験申請書と必要書類等を提出した後、LSIN倫理委員会が開催され試験の妥当性、倫理面等について審議が行われます。倫理委員会の承認が得られた後に契約書を交わし効果実証試験を行います。

試験終了後は、試験結果の集計・解析を行い報告書を作成し、依頼者へ送付します。試験結果の公表（学会発表、論文作成）については、依頼者の承諾を得た上で行います。

フローチャートは、LSINホームページ(URL : <http://www.lsin.org>)でも公開していますのでそちらもご覧下さい。



自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介 第6回

財団法人四国産業・技術振興センター
Shikoku industry & TEchnology Promotion center



財団法人四国産業・技術振興センター(略称STEP)は、四国地域の技術振興と経済発展への貢献を目的に、昭和59年に設立され、新技術の紹介・普及に向けた情報提供や技術開発支援等、種々の活動を行ってきました。

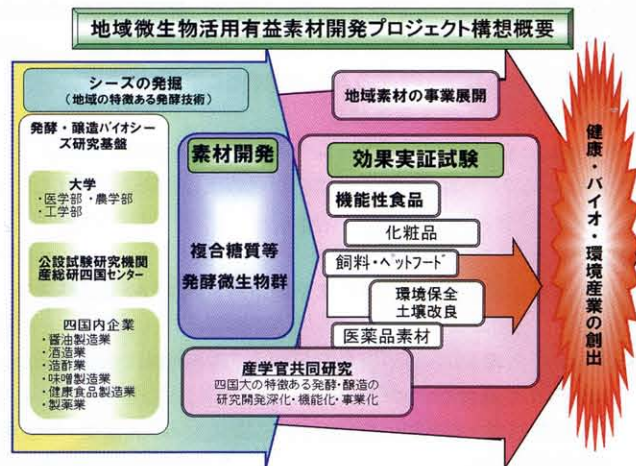
平成14年からは「四国テクノブリッジ計画」(四国の産業クラスター計画)の推進機関として、また、昨年からは四国地域の産業支援機関、公設試験研究機関や大学・高専等が協力して新たに設立された「四国地域イノベーション創出協議会」の事務局として、企業の皆様が抱える技術課題をワンストップで解決する体制を整えるなど、産学官の連携コーディネート組織としての役割も担っています。

「四国テクノブリッジ計画」では、四国の企業が持つ高レベルで多様なものづくり基盤技術を健康・バイオ分野へ応用することにより、「健康増進」「疾病予防」「病後の対応」「健康チェック」といった領域での産業集積を促進するため、さまざまな取り組みが行われています。

STEPが自然免疫応用技研(株)、NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワークとタイアップして進めている「地域微生物活用有益素材開発プロジェクト」もその一つで、糖脂質を活かした新商品の開発や、自然免疫賦活物質の開発および効果実証試験による安全性・機能性の検証等の取り組みが進んでいます。

STEPは、他社との協業、大学・高専との技術協力、国や自治体の施策活用等の仲介や技術開発計画立案等による技術開発の支援のほか、展示会への出展支援、大手企業等とのマッチング等を通じて事業化・販路開拓についてもフォローし、今後とも企業の皆様の活動をサポートしていきたいと考えています。お気軽にご連絡ください。

● 所在地 〒760-0033 高松市丸の内2-5 TEL087-851-7025 <http://www.tri-step.or.jp/>



LSINホームページを更新しました

この度、LSINからの情報発信をより充実させるため、ホームページ(URL : <http://www.lsin.org>)を更新しました。トップページには、講演会でご好評をいただいておりますアニメ「マクロファージと私たちの健康」を掲載しました。再生ボタンをクリックしていただくと、体が健康を維持していく上で、マクロファージがどのように働いているのかを簡単に説明しています。

また、LSINの活動ページには特徴的な活動のひとつである「安全性・効果実証試験」を紹介しており、連携臨床施設や試験を実施する際の流れについて、追加掲載しました。

今後も情報発信の場として、ホームページを充実させていく予定です。ご意見・ご要望等ありましたら事務局(npolsin@lsin.org)までお寄せください。



リニューアルしたトップページ

ちよつと一息：ひげ博士のホットレポートー最新免疫学講座ー

皆さんお元気か。これまで、異物を何でも食べる食細胞、つまりマクロファージが体を健康に維持する中心的な細胞という話をしてきた訳じゃが、アメーバやゾウリムシのような単細胞生物はどうか。これがどうして、こやつらも異物を食べて消化して栄養にしている、いわばマクロファージなんじゃ。単細胞生物から我々のような複雑な多細胞生物が進化してきたと考えれば、人間もマクロファージから生まれた様なものじゃのう。

そう考えてみると、いろいろなことがわかるものじゃ。例えば、無脊椎動物のエビに小麦発酵抽出物を与えても、人間と同じようにマクロファージが活性化して、異物をどんどん食べるようになるし、ウイルスなどの病原体に対する抵抗性も得られる。驚くべき事に、マクロファージ活性化に必要な小麦発酵抽出物の体重あたりの量はエビでも、人間でも、家畜でも同じなんじゃ。これは水産大学校の高橋先生のすばらしい発見じゃが、自然免疫とマクロファージは進化の過程でしっかりと保存されてきた大事なシステムということじゃな。



LSIN会員募集

LSINでは会員を募集しています。LSINの活動に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。

入会を希望される方は、以下の入会手続きをご参考ください。

(1) ホームページからの入会手続き

下記のURLにアクセスし、ホームページ内の「入会のご案内」→「入会申込フォーム」に必要事項を明記の上、お申込ください。

LSIN URL : <http://www.lsin.org>

(2) 郵送またはFAXによる入会手続き

「入会申込書」をLSIN事務局まで郵送あるいはFAXでご請求下さい。

「入会申込書」に必要事項を明記の上、事務局まで郵送あるいはFAXにて送付ください。

「入会申込書」の下部に記載している振込先へ、入会金・年会費をお振込ください。

事務局から「入会手続き完了」の連絡をお送りします。

※「入会手続き完了」のご連絡は、事務局にて入会申込書と入金照合し、入会手続きが完了した時点でお送りします。

入会申込書の送付と入会金・年会費のお振込完了後、2週間を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

●入会金・年会費一覧

入会金			年会費		
正会員	個人会員	10,000円	正会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
賛助会員	個人会員	10,000円	賛助会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
モニター会員	入会金なし		モニター会員	年会費なし	

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川バイオ研究室

特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク

TEL:088-652-6026 FAX:088-669-2967
(MOBILE:090-2783-5885)

E-mail: npolsin@lsin.org URL: <http://www.lsin.org>

編集後記

LSIN会員の皆様、ニュースレターNo.8をお届けします。

さて、今号では、安全性・効果実証試験受託フローチャートを掲載しました。これを見ることにより実証試験を行うためにどのような手続きが必要かわかると思っています。

実証試験を行うことで、企業や団体が保持している素材や製品に科学的な裏付けを与えることになり、付加価値を上げることができます。奮ってご依頼をお願いします。

ところで、9月に入り新型インフルエンザが大流行期に突入していますが、皆様は感染防御対策を行っていますか。頻回のうがいと手洗いで予防できますので、忘れずに行ってください。もし感染した場合は、感染を広げないため発症から7日間はお外出を控えて下さい。やむを得ず外出する際は咳エチケットであるマスクの着用をお忘れなく。

最後になりますが、お忙しい中、原稿をご執筆いただいた方々、編集委員の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。

編集長 中本 尊

LSIN事務局

LSINニュースレター編集委員

編集長 中本 尊 編集員 稲川裕之 中本優子 谷口芳枝

平成21年9月17日発行